

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 11328272 A

(43) Date of publication of application: 30.11.99

(51) Int. Cl

G06F 17/60
G06F 19/00
G07G 1/12

(21) Application number: 10135339

(22) Date of filing: 18.05.98

(71) Applicant: OKI ELECTRIC IND CO LTD

(72) Inventor: SUZUKI OSAMU
SAITO HIROYUKI

(54) ON-LINE SHOPPING SYSTEM AND AUTOMATIC ACCOUNT SETTLEMENT TERMINAL EQUIPMENT

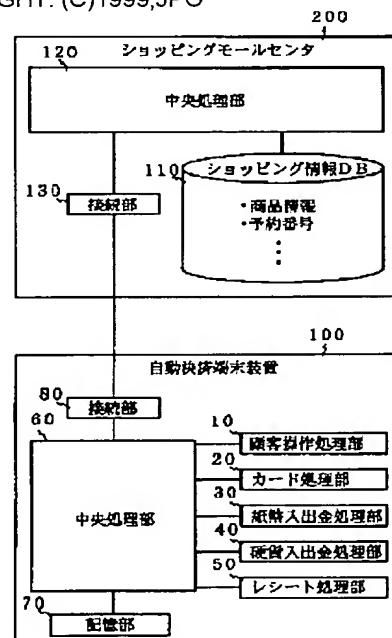
part 120 retrieves a shopping information DB 110, extracts the information of an object reservation transaction and performs a cancellation processing.

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To cancel reservation on an automatic account-settlement terminal equipment by providing a reservation cancellation processing function and canceling a pertinent reservation in the case that the cancellation of the reservation is inputted from the automatic account settlement terminal equipment.

SOLUTION: This automatic account settlement terminal equipment 100 for receiving shopping transactions and an on-line shopping mail center 200 are on-line connected. In the case of canceling the reservation, the central processing part 60 of the automatic account settlement terminal equipment 100 successively displays the input guidance screen of a reservation cancellation possible date, the input guidance screen of the cancellation No. of a receipt, the input guidance screen of an identification number and the selection screen of an account settlement method at the time of performing cancellation at an operation display part. The central processing part 60 transmits inputted information to the center 200. In the center 200, the central processing

COPYRIGHT: (C)1999,JPO



(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-328272

(43)公開日 平成11年(1999)11月30日

(51)Int.Cl.⁶

G 0 6 F 17/60
19/00
G 0 7 G 1/12

識別記号

3 2 1

F I

G 0 6 F 15/21
G 0 7 G 1/12
G 0 6 F 15/24

3 3 0
3 2 1 Z

審査請求 未請求 請求項の数5 O.L (全 10 頁)

(21)出願番号 特願平10-135339

(22)出願日 平成10年(1998)5月18日

(71)出願人 000000295

沖電気工業株式会社

東京都港区虎ノ門1丁目7番12号

(72)発明者 鈴木 治

東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 沖電気
工業株式会社内

(72)発明者 斎藤 弘之

東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 沖電気
工業株式会社内

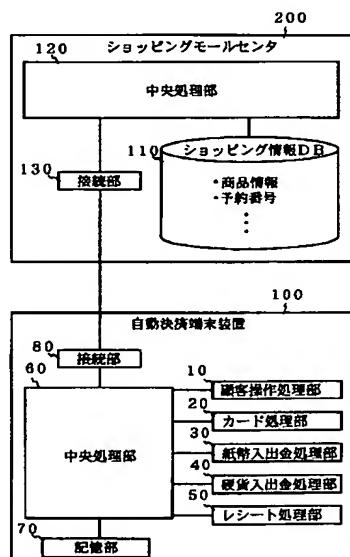
(74)代理人 弁理士 金倉 留二

(54)【発明の名称】 オンラインショッピングシステムおよび自動決済端末装置

(57)【要約】

【課題】 自動決済端末装置で商品決済の取消しを行えるようにしようとする課題があった。

【解決手段】 自動決済端末装置による取り引きを、ある一定の日数の間までは予約期間として実際に決済しないで、決済の予約として受け付ける予約処理機能を備え、その日数の経過時に決済処理を行うようにしたオンラインショッピングシステムを提供する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 誘導画面を表示して顧客の操作によりショッピング取り引きを受け付ける自動決済端末装置と、オンラインショッピング取り引きを決済するオンラインショッピングセンタとをオンライン接続したオンラインショッピングシステムにおいて、自動決済端末装置による取り引きを、ある一定の日数の間までは予約期間として実際に決済しないで、決済の予約として受け付ける予約処理機能を備え、その日数の経過時に決済処理を行うようにしたことを特徴とするオンラインショッピングシステム。

【請求項2】 請求項1において、予約の取り消しを行う予約キャンセル処理機能を備え、決済予約期間経過前に、予約の取り消しが自動決済端末装置から入力された場合に、該当する予約を取り消すようにしたことを特徴とするオンラインショッピングシステム。

【請求項3】 請求項1において、商品の配達日を指定させる誘導画面を表示して、顧客に配達日を指定させる商品配達日指定処理機能を備え、予約の受付時に商品配達の希望日時を指定するようにしたことを特徴とするオンラインショッピングシステム。

【請求項4】 請求項3において、直ぐに商品の配達を希望する特急配達選択機能を備えたことを特徴とするオンラインショッピングシステム。

【請求項5】 オンラインショッピング取り引きを決済するオンラインショッピングセンタとオンライン接続し、誘導画面を表示して顧客の操作によりショッピング取り引きを受け付ける自動決済端末装置において、ある一定の日数の間までは予約期間として決済しないで、決済の予約として受け付ける予約処理の誘導画面を表示し、予約処理を誘導する予約処理機能を備えたことを特徴とする自動決済端末装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、オンラインショッピングシステムおよび自動決済端末装置に関し、特に、顧客が自動決済端末装置を操作して決済後に、予約の取消しを行うのに有用である。

【0002】

【従来の技術】 一般に、オンラインショッピングシステムでは、顧客は、自動決済端末装置の誘導画面にしたがって操作し、自動決済端末装置からオンライン経由でショッピングモールセンタにアクセスし、商品の検索、選択、注文を行い、注文が確定すると、現金またはクレジットカードにより、決済が実施される。自動決済端末装置からは、注文確認証としてレシートが発行される。後日、ショッピングモールセンタから依頼を受けた配送センタが商品を顧客まで配送するようになっている。顧客が配送された商品を受け取ることで取り引きが終了す

る。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、上記従来のオンラインショッピングシステムでは、自動決済端末装置に決済後の購入取消し機能を備えていないため、決済が行われた後に購入の取消しをすることができない。このため、従来のオンラインショッピングシステムでは、決済後に購入取消しを行うためには、顧客はオンラインショッピングセンタへ電話連絡して商品の発送を取り消し

10 たり、商品が発送された後に返品することで注文を取り消すようにしていた。したがって、顧客にとって非常に手間のかかる問題があり、商品の発送後に取消しがあつた場合はオンラインショッピングセンタにとっても発送料が嵩む問題がある。また、自動決済端末装置に発送日を指定する機能を備えていないため、顧客の不在時に商品が届けられるときには発送センタは再度発送しなおさなければならぬ問題があり、オンラインショッピングセンタにとっても発送料が嵩む問題がある。

【0004】

20 【課題を解決するための手段】 本発明は、誘導画面を表示して顧客の操作によりショッピング取り引きを受け付ける自動決済端末装置と、オンラインショッピング取り引きを決済するオンラインショッピングセンタとをオンライン接続したオンラインショッピングシステムにおいて、自動決済端末装置による取り引きを、ある一定の日数の間までは予約期間として実際に決済しないで、決済の予約として受け付ける予約処理機能を備え、その日数の経過時に決済処理を行うようにした。

【0005】 なお、予約の取り消しを行う予約キャンセ

30 ル処理機能を備え、決済予約期間経過前に、予約の取り消しが自動決済端末装置から入力された場合に、該当する予約を取り消すようにするのが好ましい。また、商品の配達日を指定させる誘導画面を表示して、顧客に配達日を指定させる商品配達日指定処理機能を備え、予約の受付時に商品配達の希望日時を指定するようにしてもよい。直ぐに商品の配達を希望する特急配達選択機能を備えるのが好ましい。

【0006】 さらにまた、オンラインショッピング取り引きを決済するオンラインショッピングセンタとオンライン接続し、誘導画面を表示して顧客の操作によりショッピング取り引きを受け付ける自動決済端末装置において、ある一定の日数の間までは予約期間として決済しないで、決済の予約として受け付ける予約処理の誘導画面を表示し、予約処理を誘導する予約処理機能を備えた。

40 【0007】

【発明の実施の形態】 以下、図面を参照して、本発明の実施の形態を説明する。なお、これによりこの発明が限定されるものではない。図1は、実施の形態のシステム構成図である。このシステムでは、街頭等に設置され、誘導画面を表示して顧客の操作によりショッピング取り

50

引きを受け付ける自動決済端末装置100と、オンラインショッピング取り引きを決済するオンラインショッピングセンタ200とをオンライン接続してある。

【0008】前記自動決済端末装置100は、顧客操作処理部10、カード処理部20、紙幣入出金処理部30、硬貨入出金処理部40、レシート処理部50、中央処理部60、記憶部70および接続部80を有している。前記顧客操作処理部10は、表示画面上に処理を誘導する各種誘導メッセージや入力キーを表示し、顧客の操作を処理するところであり、例えば、後述するようにタッチパネル等である。前記カード処理部20は、クレジットカードの搬送を制御し、クレジットカードの磁気ストライプ等の記憶部分に対して読み書きを行う。前記紙幣入出金処理部30は、紙幣の入出金処理を制御する。前記硬貨入出金処理部40は、硬貨の入出金処理を制御する。前記レシート処理部50は、取り引きの結果としてのレシートを印刷して発行する。前記中央処理部60は、全体の処理を実行する。前記記憶部70は、中央処理部60が実行するプログラムを格納する。そのプログラムとしては、例えば、①決済処理プログラム、②予約データ注文処理プログラム、③予約キャンセル処理プログラム、④予約処理プログラム、⑤即注文処理プログラムがある。①決済処理プログラムは、現金またはクレジットカードによる支払いを処理して決済を行う機能を実現するプログラムである。②予約データ注文処理プログラムは、取り引き開始前の装置アイドル状態の時に実行する処理であり、予約データを注文指定日にショッピングモールへ送信する機能を実現するプログラムであり、例えば、現在の日付・時間の取得処理、ショッピングモールセンタへの予約データ送信時間か判断する処理、予約ファイルから注文指定日が取得した日付と一致する予約データがあるか判断する処理およびこれら予約データをショッピングモールへ送信する処理を有する。③予約キャンセル処理プログラムは、予約データの取消し(キャンセル)処理を実現するプログラムであり、ショッピングと予約キャンセルの選択処理、注文指定日入力処理、本操作が注文指定日前ときのみ、予約取消し可能とする処理、取り引き認証処理、個人認証処理、取引認証と個人認証がOKかの判断処理、払い戻し処理、予約データファイルからキャンセルを指定された予約データを削除する処理を有する。なお、取り引き認証処理とは、取り消しをしようとする予約取引のデータが存在するか判断する処理であり、個人認証とは、存在した取り引きを予約した顧客とその取り引きを取り消す顧客が同一であるかを判断する処理である。④予約処理プログラムは、顧客が装置決済時に商品をその場で注文するのではなく、ある期間のみ自動決済端末装置上でキャンセルを可能とするための予約処理機能を実現するプログラムであり、即決済・予約の選択処理、予約時のレシートに印字された取り引き番号の入力処理、予約取消し時に使

用する暗証番号入力処理、予約取消しを可能とする期間を指定する処理(後述する注文時の送信データマップのD13の注文指定日にそれぞれセーブされる)、現金とカードのどちらを使用して支払うかの決済処理、現金決済の場合の現金返却処理、カード決済時のカード吸入とカードリード処理、カード決済時のカード決済データの削除、カード返却処理、個人予約データを予約データ群に注文指定日を合わせて格納する処理を有する。⑤即注文処理プログラムは、配達日の指定を指定して、直ぐに配達するかを顧客に判断させる機能を実現するプログラムである。前記接続部80は、ショッピングモールセンタ200との間の通信を制御する。

【0009】前記ショッピングモールセンタ200は、ショッピング情報データベース(以下「ショッピング情報DB」という。)110、中央処理部120および接続部130を有している。前記ショッピング情報DB110には、各商品情報や予約番号テーブル等が蓄積される。前記中央処理部120は、図示しない記憶部に格納してあるプログラムを実行して全体の処理を行う。前記接続部130は、自動決済端末装置100との間の通信を制御する。

【0010】図2に、自動決済端末装置の外観図を示す。この自動決済端末装置100には、接客側に操作表示部1、カード挿入口2、紙幣入出口3および硬貨入出口4が配列してある。前記操作表示部1は、前述したように例えばタッチパネル等であり、表示部と入力部とを一体化したものである。前記カード挿入口2は、クレジットカードの筐体内への挿入および排出をするところであり、図示しないレシート発行口が併設してある。前記紙幣入出口3は、紙幣を筐体内に取り込み、お釣り等を排出するところである。前記硬貨入出口4は、硬貨を筐体内に取り込み、お釣り等を排出するところである。

【0011】それでは、次に実施の形態の処理を説明する。図3および図4にそのフローチャートを示す。なお、図5~図20までに誘導画面の一例を示す。また、図21に注文時の送信データマップの一例、図22に予約データのデータベースの概念を示すテーブル、図23に予約処理時に発行するレシートの一例、図24に予約キャンセル時に発行するレシートの一例を示す。

【0012】S a 1: 中央処理部60は、操作表示部1にメニュー画面を表示する。例えば、図5に示すように、「ご利用の取引を選択してください。」等の誘導メッセージとともに、「ショッピング」、「キャッシング」、「募金」等の選択キーを表示する。
S a 2: 中央処理部60は、取引選択の有無を判断する。ここでは、ショッピングが選択されたものとして説明を続ける。

【0013】S a 3: 中央処理部60は、操作表示部1に商品選択誘導画面を表示する。例えば、図6に示すように、「商品を選択してください。」等の誘導メッセージ

ジとともに、「本」、「食品」等の商品の選択キーを表示する。

S a 4 : 中央処理部60は、商品選択の有無を判断する。ここでは、本が選択されたものとして説明を続ける。

【0014】S a 5 : 中央処理部60は、操作表示部1に商品の個別名の選択画面を表示する。例えば、図7に示すように、「書籍名を選択してください。」等の誘導メッセージとともに、「書籍A」、「書籍B」、「書籍C」、「書籍D」、「書籍E」、「その他」等の選択キーを表示する。なお、「その他」の場合は、次に書籍名や出版社名等を入力させる誘導画面を表示して、顧客に入力させる。

【0015】S a 6 : 中央処理部60は、書籍の選択の有無を判断する。ここでは、書籍Aが選択されたものとして説明を続ける。

S a 7 : 中央処理部60は、操作表示部1に金額確認画面を表示する。例えば、図8に示すように、「金額を確認してください。書籍Aの金額は、金2,000円です。購入手続を行う場合は、購入を選択してください。」等の誘導メッセージとともに、「購入」、「もどる」等の選択キーを表示する。

【0016】S a 8 : 中央処理部60は、購入の選択の有無を判断する。なお、「もどる」の場合は、上記S a 1 にもどる。ここでは、購入が選択されたものとして説明を続ける。

S a 9 : 中央処理部60は、操作表示部1に申込者情報の入力誘導画面を表示する。例えば、図9に示すように、「申込者名の住所等を入力してください。」等の誘導メッセージとともに、住所、氏名、電話番号の入力フィールド、また、例えば、片仮名や数字等の入力キー、「確認」等の選択キーを表示する。

【0017】S a 10 : 中央処理部60は、入力確認の有無を判断する。ここでは、顧客が住所等を入力して確認を選択したものとして説明を続ける。

S a 11 : 中央処理部60は、操作表示部1に配達先情報の入力誘導画面を表示する。例えば、図10に示すように、「配達先を入力してください。尚、申込者と同じ場合には、同じを選択してください。」等の誘導メッセージとともに、住所、氏名、電話番号の入力フィールド、また、例えば、片仮名や数字等の入力キー、「確認」、「同じ」等の選択キーを表示する。

【0018】S a 12 : 中央処理部60は、入力確認の有無を判断する。ここでは、顧客が住所等を入力して確認を選択したものとして説明を続ける。

S a 13 : 中央処理部60は、配達先の住所から送料を算出し、操作表示部1に送料込みの金額確認画面を表示する。例えば、図11に示すように、「送料込みの金額を確認してください。金〇,〇〇〇円です。内送料〇〇〇円」等の誘導メッセージとともに、「確認」、「もどる」等の選択キーを表示する。

る」等の選択キーを表示する。

【0019】S a 14 : 中央処理部60は、確認の有無を判断する。なお、「もどる」の場合は、上記S a 1 にもどる。ここでは、確認が選択されたものとして説明を続ける。

S a 15 : 中央処理部60は、操作表示部1に配達希望日の入力誘導画面を表示する。例えば、図12に示すように、「配達希望日を入力してください。但し、〇年〇月〇日以降の配達になります。」等の誘導メッセージとともに、希望日の入力フィールド、また、数字等の入力キー、「購入」、「もどる」等の選択キーを表示する。

【0020】S a 16 : 中央処理部60は、入力の有無を判断する。なお、「もどる」の場合は、上記S a 1 にもどる。ここでは、購入が選択されたものとして説明を続ける。

S a 17 : 中央処理部60は、操作表示部1に予約、支払、予約キャンセル選択画面を表示する。例えば、図13に示すように、「予約、支払、予約キャンセルを選択してください。」等の誘導メッセージとともに、「予約」、「支払」、「キャンセル」等の選択キーを表示する。

【0021】S a 18 : 中央処理部60は、予約、支払、予約キャンセルの選択を判断する。支払の場合は処理をS a 19に移し、予約の場合は処理をS a 22に移し、予約キャンセルの場合は処理をS a 29に移す。

S a 19 : 中央処理部60は、操作表示部1に配達希望日の入力誘導画面を表示する。例えば、図12に示すように、「配達希望日を入力してください。但し、〇年〇月〇日以降の配達になります。」等の誘導メッセージとともに、希望日の入力フィールド、また、数字等の入力キー、「購入」、「もどる」等の選択キーを表示する。なお、上記S a 15、S a 16で同処理を行った場合にはここでの処理は省略する。

【0022】S a 20 : 中央処理部60は、入力の有無を判断する。なお、上記S a 15、S a 16で同処理を行った場合にはここでの処理は省略する。また、日にちだけの指定ではなく、時間も指定するのが好ましい。

S a 21 : 中央処理部60は、決済処理を行う。例えば、図15に示すように、支払方法の選択画面を表示した後に、現金かクレジットカードによるかの選択を待って、その選択に応じた従来からの決済処理を行う。

【0023】S a 22 : 中央処理部60は、操作表示部1に暗証番号の入力誘導画面を表示する。例えば、図14に示すように、「4ヶタの数字を入力してください。この数字は、予約キャンセル時に暗証番号として使用しますので、忘れないようにしてしてください。」等の誘導メッセージとともに、暗証番号の入力フィールド、また、数字等の入力キー、「確認」キーを表示する。

【0024】S a 23 : 中央処理部60は、入力確認を判断する。

S a 2 4 : 中央処理部60は、予め設定して記憶部70に格納してある予約取消可能期間を呼び出し、操作表示部1に予約取消可能期間確認画面を表示する。なお、ショッピングモールセンタ200のショッピング情報DB110内に予約取消可能期間を設定しておき受信するようにしてもよい。例えば、図16に示すように、「予約取消し可能期間は、今日から10日後の〇年〇月〇日までです。」等の誘導メッセージとともに、「確認」キーを表示する。

【0025】S a 2 5 : 中央処理部60は、確認キーの入力を判断する。

S a 2 6 : 中央処理部60は、操作表示部1に暗証番号の入力誘導画面を表示する。例えば、図14に示すように、「4ケタの数字を入力してください。この数字は、予約キャンセル時に暗証番号として使用しますので、忘れないようにしてしてください。」等の誘導メッセージとともに、暗証番号の入力フィールド、また、数字等の入力キーや「確認」キーを表示する。

【0026】S a 2 7 : 中央処理部60は、操作表示部1に配達希望日の入力誘導画面を表示する。例えば、図12に示すように、「配達希望日を入力してください。但し、〇年〇月〇日以降の配達になります。」等の誘導メッセージとともに、希望日の入力フィールド、また、数字等の入力キーや「購入」、「もどる」等の選択キーを表示する。また、ここで、予約を行わずに、直ぐに配達するように指定することもできる。この指定を特急指定と呼ぶと、特急指定は、下記のS a 2 8の決済処理を予約時に直ぐに行なうことで行う。決済処理を済ませると、ショッピングモールセンタ200の中央処理部120は、図示しない配送センタに商品の配送を依頼するからである。なお、上記S a 1 5、S a 1 6で同処理を行った場合にはここでの処理は省略する。

【0027】S a 2 8 : 中央処理部60は、決済処理を行う。例えば、図15に示すように、支払方法の選択画面を表示した後に、現金かクレジットカードによるかの選択を待って、その選択に応じた決済処理を行う。なお、予約した場合には、この決済処理の時に、予約登録を行う。この予約登録は、中央処理部60は、送信データマップを作成し、ショッピングモールセンタ200に送信する。その送信データマップには、図21に示すように、取引き番号D1、取引き日時D2、注文商品番号D3、注文商品個数D4、決済金額D5、決済方法（現金／カード）D6、クレジットカード情報D7、顧客（決済者）住所D8、顧客（決済者）氏名D9、配達先住所D10、配達先宛名D11、予約キャンセル用暗証番号D12、注文指定日D13、配達指定日時D14等が配列してある。ショッピングモールセンタ200では、中央処理部120が受信した送信データマップを基に、予約データのデータベースのテーブルを作成する。このテーブルは、例えば、図22に示すように、注文指

定日に対応する予約データ群の件数をカウントしたテーブルである。なお、予約の場合に予約登録を行うのは、自動決済端末装置100がアイドル状態や指定した時間に適宜行なうようにしてもよい。また、レシート処理部50が、予約内容や明細等を記載したレシートを発行する。このレシートには、図23に示すように、取引き番号を付与する。この取引き番号は、例えば、日付と取り扱い機番とで構成する。機番01の自動決済端末装置100を利用して、1998年4月14日15時24分30秒に予約した場合には、「19980414152430011」のような番号とする。また記述欄に、予約取消可能日も記載する。これにより、顧客は、予約の取消し可能な期間を把握できる。

【0028】S a 2 9 : 中央処理部60は、操作表示部1に予約取消可能日の入力誘導画面を表示する。例えば、図17に示すように、「レシートに記載されている予約取消可能日を入力してください。」等の誘導メッセージとともに、日付の入力フィールド、また、数字等の入力キーや「確認」キーを表示する。

20 S a 3 0 : 中央処理部60は、確認の有無を判断する。

【0029】S a 3 1 : 中央処理部60は、操作表示部1にレシートの取消No.入力誘導画面を表示する。例えば、図18に示すように、「レシートに記載されている予約取消可能日を入力してください。」等の誘導メッセージとともに、日付の入力フィールド、また、数字等の入力キーや「確認」キーを表示する。

S a 3 2 : 中央処理部60は、確認の有無を判断する。

【0030】S a 3 3 : 中央処理部60は、操作表示部1に暗証番号の入力誘導画面を表示する。例えば、図19に示すように、「あなたの取引の暗証番号を入力してください。」等の誘導メッセージとともに、入力されたことを示すフィールド、また、数字等の入力キーや「確認」キーを表示する。

S a 3 4 : 中央処理部60は、確認の有無を判断する。

【0031】S a 3 5 : 中央処理部60は、操作表示部1に取消したときの決済方法の選択画面を表示する。例えば、図20に示すように、「決済したときの支払方法を選択してください。」等の誘導メッセージとともに、「現金」および「カード」の選択キーを表示する。

40 S a 3 6 : 中央処理部60は、「現金」および「カード」の選択キーの選択により確認の有無を判断する。

【0032】S a 3 7 : 中央処理部60は、処理S a 29～S a 3 6まで入力された情報をショッピングモールセンタ200に送信する。ショッピングモールセンタ200では、中央処理部120がショッピングDB110を検索して対象の予約取引の情報を抽出し、キャンセル処理を行う。このとき、入力情報と予約登録されている情報を比較して合致した場合にのみ予約の取消しを行う。なお、予約取消し可能期間が過ぎているときには、その旨を自動決済端末装置100に送信し、操作表

示部1にその旨を表示するのが好ましい。また、予約キャンセルが終了した場合には、その旨を自動決済端末装置100に送信し、レシート処理部50にレシートを発行させる。このレシートは、例えば、図24に示すように、取消し内容を記述したものを発行する。これとともに、現金による決済の場合には、入金した金額を払い戻し、クレジットカードによる決済の場合には、カードを吸入させてカード情報をチェックする。そして、送信データマップ中のクレジットカード情報D7を削除し、カードを返却する。これにより、クレジット会社への請求データはなくなる。

【0033】上記第1の実施の形態によると、自動決済端末装置上での予約キャンセルが可能となる。これにより、あらかじめ商品購入に対して迷いのある顧客が商品を購入する場合において、従来であれば、商品到着を待ってから、その商品を返品するという手間のかかる処理であったものが、この予約キャンセル処理により、商品の発送前に予約の取り消しが可能となる。

【0034】なお、本処理では、実際に『ショッピングモール』側と『顧客』側で商品を動かさないので、ショッピングモール側としては、商品の運送費がかからず、顧客側としては、商品到着を待ってからその商品を返品する手間が省ける効果が得られる。また、顧客が希望する配送日時を指定するようにすると、不在時に商品が届くことがなくなり、顧客が指定した日時に必ず商品を受け取ることができる。このことから、不在時に商品が届いた場合の再配達の手続きもなくなる。

【0035】なお、上記実施の形態では、自動決済端末装置にバーコードリーダを備え、決済処理をした時に顧客に渡すレシートに個人認識用のバーコードを印字可能にすれば、個人認識方法を『暗証番号』から『レシートに印字したバーコード』に代替えすることができる。さらに、この場合、用紙の取り込み可能なスキャナーを接続し、予約キャンセル時にレシートを読み取らせてそのイメージのバーコードを認識できるようにすれば、顧客がレシートをイメージスキャナに通すだけの操作になり顧客サービスに繋がり、予約時のレシートも回収可能となる。

【0036】

【発明の効果】以上説明したように本発明によると、自動決済端末装置上での予約キャンセルが可能となる。これにより、あらかじめ商品購入に対して迷いのある顧客が商品を購入する場合において、従来であれば、商品到着を待ってから、その商品を返品するという手間のかかる処理であったものが、この予約キャンセル処理により、商品の発送前に予約の取り消しが可能となる効果が

得られる。このため、本発明では、実際に『ショッピングモール』側と『顧客』側で商品を動かさないので、ショッピングモール側としては、商品の運送費がかからず、顧客側としては、商品到着を待ってからその商品を返品する手間が省ける効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】実施の形態のシステム構成図

【図2】自動決済端末装置の外観図

【図3】実施の形態の処理のフローチャート

【図4】実施の形態の処理のフローチャート

【図5】誘導画面の例示図

【図6】誘導画面の例示図

【図7】誘導画面の例示図

【図8】誘導画面の例示図

【図9】誘導画面の例示図

【図10】誘導画面の例示図

【図11】誘導画面の例示図

【図12】誘導画面の例示図

【図13】誘導画面の例示図

【図14】誘導画面の例示図

【図15】誘導画面の例示図

【図16】誘導画面の例示図

【図17】誘導画面の例示図

【図18】誘導画面の例示図

【図19】誘導画面の例示図

【図20】誘導画面の例示図

【図21】注文時の送信データマップの例示図

【図22】予約データのデータベースの概念を示すテーブル

【図23】予約時に発行するレシートの例示図

【図24】予約キャンセル処理時に発行するレシートの例示図

【符号の説明】

100 自動決済端末装置

10 顧客操作処理部

20 カード処理部

30 紙幣入出金処理部

40 硬貨入出金処理部

50 レシート処理部

40 60 中央処理部

70 記憶部

80 接続部

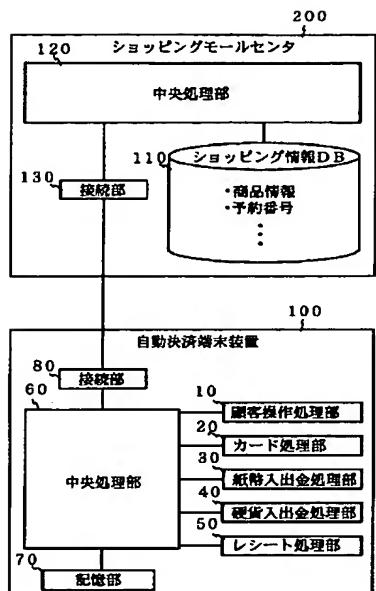
200 ショッピングモールセンタ

110 ショッピング情報データベース

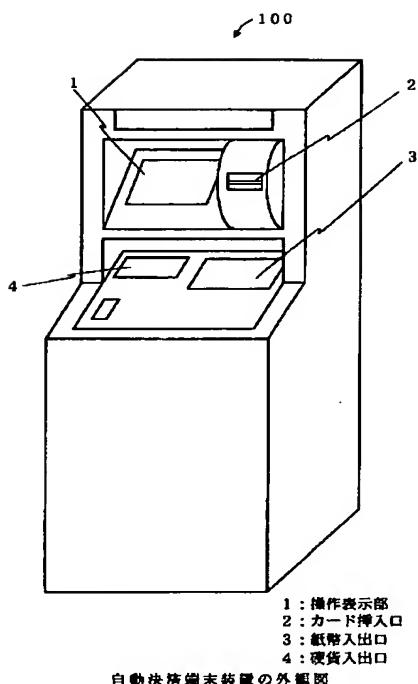
120 中央処理部

130 記憶部

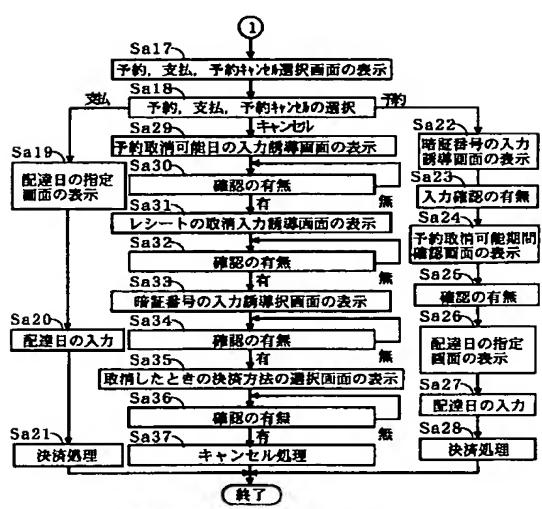
【図1】



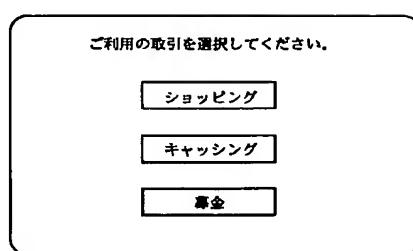
【図2】



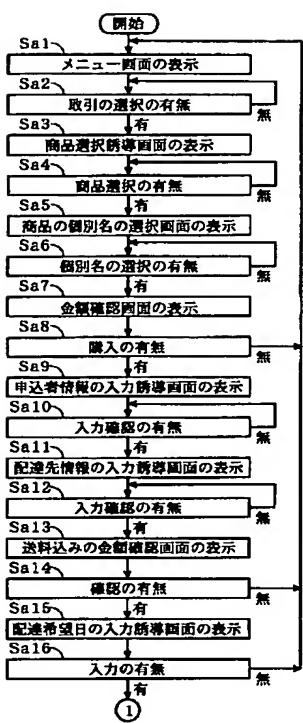
【図4】



【図5】



【図3】



実施の形態の処理のフローチャート

【図6】

商品を選択してください。

本		
食品		
		もどる

誘導画面の例示図

【図23】

取扱い番号
ご予約内容
明細
記述欄

予約処理時に発行するレシートの例示図

【図8】

金額を確認してください。

書類Aの金額は、
金2,000円です。

購入手続を行う場合は、購入を選択してください。

購入	もどる
----	-----

誘導画面の例示図

【図7】

書類名を選択してください。

書類A	書類D
書類B	書類E
書類C	その他

誘導画面の例示図

申込者名の住所等を入力してください。

住所	氏名	TEL
[40個の入力欄]		
		確認

誘導画面の例示図

【図9】

配達先を入力してください。
尚、申込者と同じ場合には、同じを選択してください。

住所	氏名	TEL
[40個の入力欄]		
		確認
		同じ

誘導画面の例示図

【図10】

【図11】

送料込みの金額を確認してください。

金〇.〇〇〇円
内送料〇〇〇円

誘導画面の例示図

【図12】

配達希望日を入力してください。
但し、〇年〇月〇日以降の配達になります。

年月日

7	8	9
4	5	6
1	2	3
0		

誘導画面の例示図

【図13】

予約、支払、予約キャンセルを選択してください。

誘導画面の例示図

【図14】

4ケタの数字を入力してください。
この数字は、予約キャンセル時に暗証番号として使用しますので、忘れないようにしてください。

7	8	9
4	5	6
1	2	3
0		

誘導画面の例示図

【図15】

支払方法を選択してください。

誘導画面の例示図

【図16】

予約取消し可能期間は、
今日から10日後の
〇年〇月〇日までです。

誘導画面の例示図

【図17】

レシートに記載されている
予約取消可能日を入力してください。

1998年4月24日

7	8	9
4	5	6
1	2	3
0		

誘導画面の例示図

【図18】

レシートの取消Noを入力
してください。

1998042401

7	8	9
4	5	6
1	2	3
0		

誘導画面の例示図

【図19】

あなたの取引の暗証番号を入力してください。

＊＊＊＊

7	8	9
4	5	6
1	2	3
0		

誘導画面の例示図

【図20】

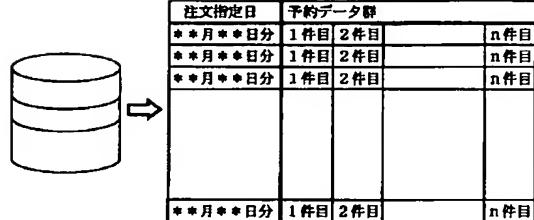
決済したときの支払方法を選択してください。

誘導画面の例示図

【図21】

D 1	取引き番号
D 2	取引き日時
D 3	注文商品番号
D 4	注文商品個数
D 5	決済金額
D 6	決済方法(現金/カード)
D 7	クレジットカード情報
D 8	顧客(決済者)住所
D 9	顧客(決済者)氏名
D 10	配達先住所
D 11	配達先宛名
D 12	予約キャンセル用暗号番号
D 13	注文指定日
D 14	配達指定日時

注文時の送信データマップの例示図



予約データのデータベースの概念を示すテーブル

【図24】

ご利用レシート

取引き番号

取消し内容
明細
記述欄

予約キャンセル処理時に発行するレシートの例示図